
約束

ユカリ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

約束

【Nコード】

N4457K

【作者名】

ユカリ

【あらすじ】

―4年…4年経ったら、必ず迎えに来る。だから…待っていて欲しい。―

そんな身勝手な約束を5年前にした。

そして、夢を叶える為海を渡った。

4年だったはずの約束が1年伸びてしまった。

果たして彼女は…

前編

―4年…4年経ったら、必ず迎えに来る。だから…待っていて欲しい。―

そんな身勝手な約束を5年前にした。

そして、夢を叶える為海を渡った。

4年だったはずの約束。

しかし研究が長引き、帰国が1年延びた。

彼女は果たして、コレを受け取ってくれるだろうか…。

立ち止まり、右手に持っていたリングケースをグッと握り込んだ。忘れられても仕方がない。果たして待っていてくれるのか…。そんな不安も胸に、待ち合わせ場所の桜花公園へ再び歩き出す。

「おい。桜花公園前のカーブで、人が跳ねられたってよ！」

「マジで！男？女？しかし、彼処のカーブは、急だから事故が耐えないよなあ」

「どうも跳ねられたのは、女性らしい」

そんな会話が聞こえた。

…イヤな予感がする。

僕は、桜花公園へ走り出した。

前編（後書き）

今回、この作品を読んでくださった皆様。

ありがとうございます。

この作品は、『別れ』の彼視点となっています。

もちろん単体でも大丈夫な様に作っていますのでご安心を。

少しでも気に入って頂ければ幸いです。後半もどうぞよろしく願います。

後編（前書き）

長くなっていました。

後編

桜花公園は、急な右カーブを曲がって直ぐの所にある公園だ。曲がりが急なのに、速度を落とさずに曲がる車が多い。

つまり事故が多発する一角だ。

桜花公園の近くまで来ると、事故を聞き付けた野次馬が群がりを作り、様子を見ていた。

僕は何とかその間を潜り抜け、公園の前に出た。次の瞬間。

ぽとつ。カタツ。

持っていたリングケースが落ちる。

僕の目の前には、公園の入り口に突っ込んだ車とその横には……。その横には彼女が横たわっているのが見えた。

目の前の光景に呆然となる。

（嘘だ…うそだ！うそだうそだ！！）

目を見張り、体が凍りついていく。

何とか彼女の傍に行こうとするが、脚が鉛のように重い。まるで、現実を拒否するかのよう。

「やっと来たあ」

苦しそうな声でそう言った彼女。

（そうだね。僕は、君を随分待たせてしまったね。）

フラフラと彼女の元へ近づく。

僕から涙が流れる。

「」

（やっと、約束を果たせるのに…。お願いだ。誰でも良い、彼女を…彼女を…）

そう思いながら、必死に彼女なの名前を呼んだ。

…彼女の瞳からも涙が零れ落ちていた。

（この5年…君を君だけを思い続けて来たんだ！

君との約束があつたから、頑張る事が出来のに。…なのに。）

しかし彼女の瞳は…。

彼女が眠りにつく直前僕は、「ありがとう」の言葉を聞いた気がした。

後編（後書き）

はい。やっと書き上がりたした。

私の2作品目が完結いたしました。

文才の乏しい（誰か分けてえ〜”（ノ<>）ノ）私の作品を最後まで読んでくださり、本当に本当にありがとうございます。

今回は、初回作品『別れ』の彼視点として書かせていただきました。気に入って頂ければ幸いです。

また感想をお待ちしていますm（＿）＿m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4457k/>

約束

2010年10月21日22時56分発行